

危険物の貨物のマーキングとラベリングの方法は？

危険物の貨物のマーキングとラベリングの方法は？

危険物の貨物にラベリングとマーキングをすることは、遅延や罰金の回避に役立つだけでなく、安全上の危険を防止するためにも不可欠です。また、適用される法律と規則および運送業者の要件を発送前に忘れずに確認してください。



危険物のラベルはすべて箱の同一面に貼付します（底面には貼らない）

危険物のラベルとマーク（箱に印字/手書きされた情報）は、必ずすべて貨物の同一面にあるようにしてください。ラベルは平らで、貨物の端で折れ曲がってはいけません。



正しい



間違い

ラベルやマークが同一面に収まらない場合は、大きめの箱を用意してください。IATA の規則書に沿って、危険物に関連するすべての情報は箱の 1 つの面になければなりません。ただし、オリエンテーションラベルのみ反対の側面にも貼ります。

危険物のラベルとマークが目視確認できることを確認します

危険物のラベルやマークは目視確認できるようにし、決してテープや梱包バンド、文字、文書パウチ、その他のシールで覆われないようにします。

荷送人名と荷受人名およびその住所が箱にしっかりと貼られている、またはマークされていることを確認します

荷送人名と荷受人名およびその住所は、どちらも貨物の外装にしっかりと貼付されているか、印刷されているか、またはマークされていなければなりません。パウチに住所を記載した紙を入れると、紛失して輸送が停止するおそれがあるため、使用しないでください。



正しい



間違い

危険物申告書が必要な場合は、必ず貨物に貼付してください

多くの危険物に危険物申告書が義務付けられています。危険物申告書は貨物から落ちないように、折りたたんで粘着性の透明パウチの中に入れ、箱の外側に貼り付けます。



正しい



間違い

危険物のラベルは45度角（ダイヤモンド型）に貼ります

発送する危険物の種類が、45度角（ダイヤモンド型）の危険物ラベルによってすぐに判別できるようにします。そのため、必ず正しい危険物ラベルを使用してダイヤモンド型（45°の角度に配置）にして箱に貼り付けてください。



正しい



間違い

箱の危険物マークが隠れないようにします

危険物用に作られたダンボール箱の多くは、正式輸送品目名、国連番号、国連容器規格マークが直接印刷されています。そのため、テープやシールでそれらが隠れないようにすることが大切です。



正しい



間違い

環境有害物質マークをマーキングする

環境有害物質（UN3082 または UN3077）を出荷する場合は、必ず環境有害物質マークをマーキングしてください。マーキングがない場合、罰金を請求されたり、輸送が遅れる可能性があります。



液体を出荷するときは、方向の矢印を使用します

液体を含む貨物では、天地無用ラベルを必要とする場合は相対する2面に貼付し、貨物の垂直姿勢が正しく保たれるようにします。



正しい



間違い

旧式のリチウム電池取扱ラベルは禁止されています

2019年1月1日より、リチウム電池セクションIIおよびセクションIBを含む貨物には、旧式のリチウム電池取扱ラベルに代わるリチウム電池マークを付けなければなりません。この2つは外観が似ていますが、旧式のリチウム電池取扱ラベルを貼付すると危険物規則書違反となります。



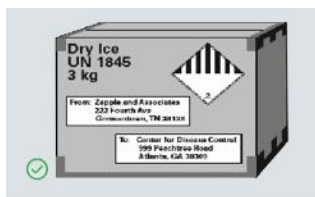
正しい



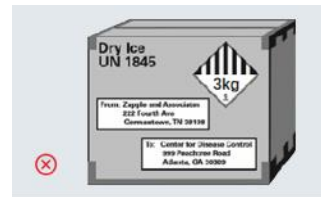
間違い

ドライアイス入りの貨物は正味量を適切にマークします

ドライアイス入りの貨物には、ドライアイスの正味量をマークすることがIATA危険物規則書で義務付けられています。ドライアイスの正味量はラベルにマークするのではなく、ドライアイスの貨物のクラス9ラベルに隣接してマークしてください。



正しい



間違い

出荷の要件や書類は運送会社によって異なる場合があります。当サイトは、出荷に関する一般的な情報を提供することを目的としています。お客様に適用される出荷条件が不明な場合は、ご利用の運送会社にご確認ください。出荷する前に、必ず出荷元および出荷先の国の規則と規制をご確認ください。(no translation for JP version)

2020年10月更新